

食品群別摂取量についてみると、支出額が多くなるにつれて、油脂類、野菜類、肉類、乳・乳製品は多くなる傾向がみられる(表6)。

表6 食品群別摂取量(支出階層別)

(1人1日当たり: g)

		10,000円 未 満	10,000～ 14,999円	15,000～ 19,999円	20,000～ 24,999円	25,000～ 29,999円	30,000～ 34,999円	35,000～ 39,999円	40,000円 以 上
穀 類	米 類	281.3	249.2	254.1	246.9	237.9	235.9	226.6	229.3
	小 麦 類	62.6	80.0	71.8	80.2	82.2	93.0	98.6	99.3
	大麦・雑穀	1.0	0.7	1.5	1.8	1.4	1.9	1.6	1.7
い も 類	75.7	60.2	65.2	61.3	62.7	60.8	62.4	59.3	
砂 糖 類	13.7	11.7	12.4	14.4	13.5	14.0	14.4	14.8	
菓 子 類	18.9	21.5	25.3	27.3	24.1	27.1	26.0	27.1	
油 脂 類	13.0	13.6	13.7	14.6	15.6	17.7	17.8	20.5	
豆 類	70.1	75.8	70.6	67.7	64.8	66.8	67.1	68.4	
果 実 類	140.3	138.5	153.5	161.9	158.6	171.7	176.9	198.4	
緑 黄 色 野 菜	56.0	52.1	49.9	52.0	54.3	59.2	59.6	63.3	
その他の野菜・茸類	203.8	199.2	186.5	194.4	191.9	202.7	196.8	217.5	
海 草 類	7.9	5.5	5.4	6.3	5.5	5.5	5.2	5.6	
調味嗜好飲料	97.0	94.7	80.8	93.0	102.7	113.1	114.6	141.8	
動物性 食 品	魚 介 類	91.4	87.4	78.8	86.7	90.7	93.8	89.1	96.3
	肉 類	48.2	53.2	52.4	54.8	58.4	64.2	66.8	78.5
	卵 類	35.1	38.4	36.5	36.9	37.3	40.4	45.2	43.5
	乳・乳製品	79.2	77.3	85.5	97.4	100.2	107.2	116.5	116.9

6. 市・町村別にみた食生活

- (1) 栄養素等摂取量は、これまで一般的に人口規模が大きくなるほど栄養水準は高いという傾向がみられたのであるが、最近では人口規模の小さいところの栄養水準の向上によって、格差は縮少する傾向にある(表7)。
- (2) 食品群摂取量をみると、人口規模が大きいところほど米類、いも類、豆類などは少なく、油脂類、肉類、乳・乳製品は多い傾向がみられる(表8)。

7. 欠食の状況

- (1) 3日間の調査期間中に1回以上欠食した者は朝食では男12.1%、女9.5%、昼食では男5.0%、女5.1%、夕食では男3.3%、女2.0%となっている(表9)。
- (2) 欠食の多い朝食について年代別にみると男女とも20歳代に多く、1回以上欠食した者は、男28.3%、女17.5%となっている。